



ID: 1355

科目名	日本経済論【26年度生用】			コード			
英語表記	Japanese Economy						
担当教員名	梅 大海			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
戦後の日本経済の発展過程を世界経済的な視野の中で考え、日本経済の歴史と現状を学ぶ授業である。							
到達目標							
基礎的な経済理論をもとに、日本経済の仕組みや日本経済が抱えている問題点が理解できることを目指す。							
授業計画							
第1回	ガイダンス: 日本経済論では何を学ぶか						
第2回	日本経済の歩み①: 経済復興への道						
第3回	日本経済の歩み②: 高度経済成長						
第4回	日本経済の歩み③: 石油ショック後の日本経済						
第5回	日本経済の歩み④: バブル経済の発生と崩壊						
第6回	日本経済の歩み⑤: 平成不況の時代						
第7回	日本経済と企業						
第8回	日本経済と金融(1)						
第9回	日本経済と金融(2)						
第10回	日本経済と財政(1)						
第11回	日本経済と財政(2)						
第12回	日本経済と社会保障						
第13回	日本経済の国際化						
第14回	グローバル下の日本経済						
第15回	総括: 日本経済の現状と課題						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
テストまたはレポートと授業態度			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	30	40	
授業外学習			テキスト、教材				
新聞やインターネット上の経済ニュースを読む			特に定めない(レジュメ及び参考資料を必要に応じて配布する)				
参考書			受講生へのメッセージ				
三橋規宏他『ゼミナール日本経済入門』(日本経済新聞出版社)							
キーワード							
景気循環、高度経済成長、バブル経済、グローバル化							